

2024年度（令和6年度）
自己点検評価報告書

2025年（令和7年）7月31日作成



目 次

はじめに-----	3	基準6 教育環境-----	21
1 学校の理念、教育目標-----	4	6-1 施設・設備等	
2 本年度の重点目標と達成計画-----	5	6-2 学外実習、インターンシップ等	
3 評価項目別取組状況		6-3 防災・安全管理	
基準1 教育理念・目的・育成人材像-----	6	基準7 学生の募集と受入れ-----	24
1-1 理念・目的・育成人材像		7-1 学生募集活動	
1-2 学校の特色		7-2 入学選考	
1-3 学校の将来構想		7-3 学納金	
基準2 学校運営-----	8	基準8 財務-----	26
2-1 運営方針・事業計画		8-1 財務基盤	
2-2 運営組織		8-2 予算・収支計画	
2-3 人事・給与制度		8-3 監査	
2-4 意思決定システム		8-4 財務情報の公開	
2-5 情報システム		基準9 法令等の遵守-----	29
基準3 教育活動-----	10	9-1 関係法令、設置基準等の遵守	
3-1 目標の設定		9-2 職業実践専門課程認定要件	
3-2 教育方法・評価等		9-3 個人情報保護	
3-3 成績評価・単位認定等		9-4 学校評価	
3-4 資格・免許取得の指導体制		9-5 教育情報の公開	
3-5 教員・教員組織		基準10 社会貢献・地域貢献-----	31
基準4 学修成果-----	15	10-1 社会貢献・地域貢献	
4-1 就職率		10-2 ボランティア活動	
4-2 資格・免許の取得率			
4-3 卒業生の社会的評価			
基準5 学生支援-----	17		
5-1 就職等進路			
5-2 中途退学への対応			
5-3 学生相談			
5-4 学生生活			
5-5 保護者との連携			
5-6 卒業生・社会人			

1. はじめに

(1) 本校の自己評価報告書は、平成25年3月に文部科学省が策定・公表した「専修学校における学校評価ガイドライン」に示された内容を基に作成されています。

(2) 評価項目は、私立専門学校等評価研究機構がガイドラインに準拠して制定した「専門学校等評価基準書Ver4.0」を適用しています。

(3) 小項目の取り組み状況は、下記に示す1から4のランクで自己評定しています。

- 4 適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。
- 3 ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取り組みが期待される。
- 2 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取り組む必要がある。
- 1 全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。

2. 学校自己評価委員の構成

- | | | |
|------|---------|---------------------------------|
| 委員長 | ： 永田 透 | (理事・校長) |
| 副委員長 | ： 石水 渡 | (教育部エグゼクティブアドバイザー) |
| 委員 | ： 若林 良弘 | (理事・副校長) |
| 委員 | ： 太田 靖也 | (教育部部長) |
| 委員 | ： 親崎 裕孝 | (教育部ボデークラフト科・ボデークラフト研究科課長) |
| 委員 | ： 岡谷 広徳 | (教育部スマートモビリティ科・トヨタセールスエンジニア科課長) |
| 委員 | ： 加納 拓実 | (教育部第2教務室室長) |
| 委員 | ： 眞田 泰寿 | (総務部エグゼクティブアドバイザー) |
| 委員 | ： 今野 康裕 | (総務部副部長) |
| 委員 | ： 江頭 裕司 | (総務部総務課主任) |

1 学校の理念、教育目標

教育理念	教育目標
<p>【基本理念】 専門学校トヨタ東京自動車大学校は、自動車技術教育の先進校として人材育成活動を通じて社会に貢献する。</p> <p>《三つのポリシー》</p> <p>【ディプロマ・ポリシー(卒業認定に関する方針)】 専門学校トヨタ東京自動車大学校は、自動車技術教育の先進校として人材育成活動を通じて社会に貢献することを基本理念に掲げ、教育スローガン「技術を磨け、そして人間性も」を実践することにより、各学科の基準を満たした者に対して卒業を認定する。</p> <p>【カリキュラム・ポリシー(教育課程編成と実施に関する方針)】 ディプロマ・ポリシー(卒業認定に関する方針)に基づき、カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成と実施の方針)を以下に定める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.国土交通省の定める一種養成施設の規定を遵守する。 2.自動車業界全体の動向をしっかりと見据え、職業に必要な最新の知識・技術をカリキュラムに反映させる。 3.各科の人材育成目標を達成するカリキュラムを設定する。 <p>【アドミッション・ポリシー(入学者受け入れに関する方針)】 入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)として求める学生像として「車が好き」で「逞しい」人材、「自動車技術を習得し、それを活かした職業に就くことを希望している」「挨拶や身だしなみも含めたコミュニケーション能力や、人間性の育成にも積極的に取り組める」と定め、本学で学ぶ意欲のある学生を幅広く募集している。</p>	<p>【教育方針】 21世紀の自動車社会に信頼される技術者を輩出する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 正確な自動車整備技術を備えた人材を育成 2. 社会人として相応しい行動がとれる人間性豊かな人材を育成 3. 地球環境を意識し、その保全・改善につとめることができる人材を育成 <p>教育スローガン:「技術を磨けそして人間性も」</p>

最終更新日付	2025/7/31	記載責任者	石水 渡
--------	-----------	-------	------

2 本年度の重点目標と達成計画

2024(令和6年)年度重点目標	達成計画・取組方法
I 募集活動：ブランディングアピールと当校独自の魅力発信の強化で応募者確保 【目標】 応募者数 400名（日本人300名、外国籍100名）	I 募集活動：学生募集
(1)一法人化を見据えたブランディング戦略、各校戦略の相乗効果発揮へ向けて	①3校で共有できるトヨタブランド効果の早期抽出と積極的展開 ②各校募集の強み弱みの把握。横展開と改善への対応策検討
(2)受験の更なる戦略的早期化・簡易化、近づき寄り添う対応での応募者獲得	①7月AO・10月推薦・AO化で更なる早期囲い込み、AO5回化で受験促進 ②Web出願化・ガイドブック・OCタイパ重視、個別フォロー充実で応募率向上 ③実績を踏まえた日本語認定校増・つながり強化による留学生の効率的獲得
II・III.教育活動・環境：一法人化による教育活動のトヨタスタンダードを構築 【目標】 登録試験100%合格、就職内定率100%、上級課程進学率70%	II・III教育・環境：教育内容・学習環境
(1)三校連携での新カリキュラム構成とトヨタスタンダードの明確化	①3校代表職員の連携による資格見直し内容検討とTEAM-GPとの融合 ②BC研究科・上級課程の授業内容見直しおよび各科電子教科書の作成
(2)一法人化による教育環境の協調および教員育成の推進	①トヨタセールスエンジニア科の職員育成計画の策定 ②全館wi-fi化による自動車整備科でのPC・タブレットの授業展開の構築
(3)留学生増加にともなうクラス編成のあり方検討	①留学生増加による上級進学率低下防止の計画と実施 ②国際整備科の増員を視野に入れた体制構築の検討
IV 学校経営： 一法人化による体制強化と効率化による学校の経営基盤安定化の具現化 【目標】 2025年度からの一法人化開始に向けた体制準備	IV 学校経営：採用・育成、経営、施設計画
(1)一法人化における、法人本部を含む新体制の構築	①法人統一による法人本部設置、理事・監事・評議員体制の新構築 ②大臣所轄学校法人等への移行に関わる新体制構築
(2)管理業務集中化に伴う、効率的統合管理システムの導入	①管理業務集中化に向けた、会計、労務等システムの構築 ②管理実務業務内容、体制の新構築と必要人員の確保 ③集中管理に伴う、労務条件統一への段階的移行
(3)改正私学法に合わせた、統一法人による寄附行為作成	①改正私学法に適應した内部統制システムの強化 ②改正寄附行為に準じた所轄区分の会計監査組織の確立
(4)持続的な学校運営・経営	①施設・設備老朽化対応として1号館リノベーション計画の推進

最終更新日付	2025/7/31	記載責任者	石水 渡
--------	-----------	-------	------

3 評価項目別取組状況

基準1 教育理念・目的・育成人材像

評価項目			評価
大項目	中項目	小項目	
基準1 教育理念・目的・育成人材像	1理念・目的・育成人材像	1-1-1理念・目的・育成人材像は、定められているか	4
	2学校の特色	1-2-1育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4
		1-2-2理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4
	3学校の将来構想	1-3-1社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4

現状の取り組み状況	課題と改善方策	参照資料
<p>【1-1-1理念・目的・育成人材像は、定められているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理念を基に教育方針を定め、各科の人材育成目標を立てている。 ・理念、並びに各科の人材育成目標は、教室、HP等に掲示、公表している。 ・教育年数・内容・社会のニーズに応じたレベルで各科の人材育成目標に沿って 明確に定めている。 	東京校・名古屋校・神戸校の3法人が一法人化する事に伴い、基本理念の統一の検討	基本理念 三つの方針 各卒業時の目標となる人物像 トヨタ東自大生活ガイド (学生ポータルサイトにも掲載)
<p>【1-2-1育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の求人状況や採用の人材要件を勘案し、教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会の意見を参考にカリキュラムに反映している。 ・業界関係者との交流の機会に、業界のニーズを元に助言を受けている。 ・インターンシップや実務見学等を依頼し、協力を得ている。 	理念達成のために求められる教育活動について、内容に見直しを適宜実施する。	トヨタ東自大カレンダー トヨタ東自大組織図 授業時間予定表 教育部業務分担表 1級科実務研修依頼文書 インターンシップに関する覚書 協定書
<p>【1-2-2理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進校として相応しい課程を設置し、必要なカリキュラムを定めて教育を実施している。 ・技術教育だけでなく、人間性教育にも力を入れている。 ・トヨタ自動車の教育制度を取り入れる事により、遠隔授業を可能にしている。 ・自動車整備士資格取得100%に向け、教育内容を毎年見直し、修正を行うことにより、100%を達成している。 ・企業と強い連携により、企業のニーズに合わせた職業実践教育に取り組んでいる。 	N/A	
<p>【1-3-1 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中長期計画を策定し、周知している。(現在は、第三次'20～'24) ・学生募集活動の改善・強化、新職員の計画的採用と育成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次期中長期計画の策定 ・1号館建て替えは、八王子市の対応変更等があり延期。次期中長期計画に盛り込む方向で検討 	トヨタ東自大新中長期方針

基準1 教育理念・目的・育成人材像

総括と課題	今後の改善方策
<p>教育理念・目的・育成人材像等、全てが明確であり、将来的にも業界の中心となる卒業生を育成する学校に相応しいものとなっている。 これらは、校長室、職員室をはじめ各教室へも掲示し、意識の統一化を図っている。 またHPIにて公表している。 各科の人材育成目標は、教室に掲示し、周知徹底に務めている。 トヨタ自動車と連携し、オンライン教育制度のTEAM-GPを取り入れ、トヨタ販売店との連携でインターンシップや実務見学、また、採用の人材要件を勘案した教育課程編成を行っている。 従来の自動車技術に加えて、新たな環境対応車両等が今後の自動車の主流になると考えられる現在、自動車整備専門学校で教育すべき内容も電気・電子・通信等の要素が重要性を増す等、これまでに比べて非常に多様化し、これらに対応することが課題である。</p>	<p>自動車社会のニーズを十分に把握し、スマートモビリティ科・トヨタセールスエンジニア科・国際整備科・ボデークラフト研究科を設置し、業界ニーズに合わせた職業実践教育に取り組むと共に、各科の人材育成目標に沿った教育課程の編成を行っていききたい。</p>
特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	備考
<p>【基本理念】 専門学校トヨタ東京自動車大学校は、自動車技術教育の先進校として人材育成活動を通じて社会に貢献する。</p> <p>【教育方針】 21世紀の自動車社会に信頼される技術者を輩出する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 正確な自動車整備技術を備えた人材を育成 2. 社会人として相応しい行動がとれる人間性豊かな人材を育成 3. 地球環境を意識し、その保全・改善につとめることができる人材を育成 <p>教育スローガン: 「技術を磨け、そして人間性も」</p> <p>・トヨタ自動車がモータリゼーション時代に先駆けて設立した自動車整備士育成校で、トヨタ自動車(株)直 営校として、洗練された理念・目的・育成人材像を制定している。</p> <p>・管轄官庁は国土交通省及び文部科学省</p>	<p>設置学科 ・1級自動車科、1級専攻科、自動車整備科、国際整備科 ボデークラフト科、ボデークラフト研究科、 スマートモビリティ科、トヨタセールスエンジニア科の8科を保有</p>

最終更新日付	2025/7/31	記載責任者	石水 渡
--------	-----------	-------	------

基準2 学校運営

評価項目			評価
大項目	中項目	小項目	
基準2 学校運営	2-1 運営方針・事業計画	2-1-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4
		2-1-2 理念等を達成するための事業計画を定めているか	4
	2-2 運営組織	2-2-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	4
		2-2-2 学校運営のための組織を整備しているか	4
	2-3 人事・給与制度	2-3-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	4
	2-4 意思決定システム	2-4-1 意思決定システムを整備しているか	4
	2-5 情報システム	2-5-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	4

現状の取り組み状況	課題と改善方策	参照資料
<p>【2-1-1理念に沿った運営方針を定めたか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の目的から方針に至るまで、学校内に明示されている。 トヨタ自動車(株)からは独立しつつも密な関係を持ち、定期的な理事会の開催及びその際報告される事業計画は時勢を踏まえて毎年検討し、承認を得ている。 その事業計画に沿って運営がなされている。 	一法人化に伴い、基本理念の統一による見直しの実施	基本理念 トヨタ東自大新中長期方針 理事会資料
<p>【2-1-2理念等を達成するための事業計画を定めているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事会による承認を得て、各部年度方針により実施、確認を行っている。 トヨタ自動車株式会社との連携 	N/A	各部年度方針
<p>【2-2-1設置法人は組織運営を適切に行っているか 運営組織】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各年度に2回定例の理事会・評議員会を開催し、適切な学校運営を行い開催毎に議事録を作成して記録に残している。 ・学校全体の運営組織図、各部署の組織図を作成し、人材育成体系に則って必要な教育、研修を実施している。 ・運営組織(図)や意思決定機能は、しっかりしたものとなっており、その責務は明確である。 	N/A	寄附行為 トヨタ東自大組織図 教育部業務分担表
<p>【2-2-2学校運営のための組織を整備しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校全体の運営組織図、各部署の組織図を作成している。 	N/A	
<p>【2-3-1人事・給与に関する制度を整備しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人事や賃金での処遇に関する制度は、きちんと整備され、定められた規定に従い、考課表を使用して適正に運用している。 ・本校賃金体系により、実績等に応じて新年度開始時に昇進・昇格が実施され、適正な支給がなされている。 ・採用は、HPへの掲載、ハローワークなどへの求人依頼通じ、新卒、本校OBや社会経験豊かで必要な資格および資質を備えた人材を適時採用している。 	<p>人材採用は、新卒と中途採用にて行っているが、当校OB、OGの割合が増えている為、一定数を外部からの採用を検討する。若年層の基準内賃金(残業代除く)の見直しが要検討。</p> <p>販売店から出向で教育に携わるシステムを構築して、2年毎に入れ替えを実施する事で現場の最新情報に接する機会を増やせるようにしている。(現在5名 → 6名になるように検討中)</p>	稟議書綴り 教職員会議事録 校内連絡ホームページ 給与規則 賞与規則

基準2 学校運営

現状の取り組み状況	課題と改善方策	参照資料
<p>【2-4-1意思決定システムを整備しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事会、経営層による定例会議等を通じ意思決定し、稟議書等による決裁を行っている。 	N/A	稟議書綴り 決裁書類
<p>【2-5-1情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹システム導入による、学生データの一括管理を検討。その他データは、ファイルサーバ等にて管理・運用を継続している。 ・デジタル教材の拡充のため、授業用タブレットパソコン導入およびシステムを更新。 ・自宅からのオンライン教育の可能化、また、フレックスタイム・在宅勤務を導入後働き方の改革に対応した。 ・システム化等による業務の効率化を図る努力は継続している。 ・2023年度より新規ワークフローシステム導入と会計ソフトの更新を行ない、電子帳簿保存法とインボイス制度の法改正への対応が完了し、法人統一による共通システム化を行ない、業務の効率化とペーパーレス化を進めていく。 ・3校共通インボイス対応共通システムの構築。 	<p>学生へのパソコン導入に向けた検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校舎のwi-fi化完了 ・授業導入への問題点洗い出し <p>授業用タブレットパソコンの利用拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教員1台へ配布検討 ・タブレット故障時の対応 	<p>スクールリーダー</p> <p>校内HP</p> <p>SMILE V2クラウド</p> <p>勤革時</p> <p>楽楽精算クラウド</p> <p>INVOX</p> <p>MJS会計システム</p> <p>BillOneシステム</p> <p>インフォクラウド</p>

基準2 学校運営

総括と課題	今後の改善方策
<p>学校運営については、「基本理念」にあるとおり、自動車技術教育の先進校として人材育成活動を通じて社会に貢献することを基本におき、運営している。自動車技術のみならず、コンプライアンス精神をはじめ、環境配慮に至るまで社会が求める学校運営の理想の姿を実践している。</p> <p>設置法人においては、トヨタグループ各社より、理事、監事及び評議員が参画し、企業の視点からの意見を伺いながら運営している。</p> <p>人事給与については、毎年制度見直しを図り、時代に応じた運用をしている。なお、2020年度に導入した人事給与システムについて、法人統一化に向けクラウド仕様に変更し3校にて運用開始準備。</p>	<p>一法人化する事に伴い、基本理念の統一による見直しの実施およびガバナンス強化を図る。</p> <p>今後の学校教育は、カーボンニュートラルに向けた環境教育及びCASEに対応する電子制御装置の整備技術など、自動車業界の変化に伴う内容へと進めて行く。</p>
特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	備考
<p>【学校運営】</p> <p>グローバルな視点をもって社会と調和のとれた運営を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法とその精神を遵守し、オープンかつフェアに運営 2. 環境に配慮し、地域社会と調和 <p>【特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トヨタ自動車(株)系列 	<ul style="list-style-type: none"> ・トヨタ自動車および販売店各社より、理事、監事及び評議員が参画、学校関係者評価委員、教育課程編成委員に選出 ・職業実践専門課程の認定校、高等教育修学支援の確認校

最終更新日付	2025/7/31	記載責任者	今野 康裕
--------	-----------	-------	-------

基準3 教育活動

評価項目			評価
大項目	中項目	小項目	
基準3 教育活動	3-1 目標の設定	3-1-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4
		3-1-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4
	3-2 教育方法・評価等	3-2-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4
		3-2-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4
		3-2-3 キャリア教育を実施しているか	4
		3-2-4 授業評価を実施しているか	4
	3-3 成績評価・単位認定等	3-3-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4
		3-3-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4
	3-4 資格・免許取得の指導体制	3-4-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4
		3-4-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	4
	3-5 教員・教員組織	3-5-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	4
		3-5-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	4
		3-5-3 教員の組織体制を整備しているか	4

現状の取り組み状況	課題と改善方策	参照資料
<p>【3-1-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程に関しては、教育課程編成委員会のみならず、就職先企業等多くのニーズを聴取し、教育課程に反映させている。 ・自動車の技術的な進歩に合わせて教育内容も検討していく必要があり、各科の教育課程編成に於いては、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて進めている。 	N/A	<ul style="list-style-type: none"> ・基本理念 ・三つのポリシー ・各科卒業時の目標となる人物像 ・各科カリキュラ
<p>【3-1-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格取得に向けては、通常の授業に加えて、資格試験前には確実な資格取得に向けた内容の授業を実施している。 ・当校独自のスマートモビリティ科、トヨタセールスエンジニア科、ボデークラフト研究科は、国交省規定にはない分野ながら、先端的な自動車技術や専門知識を活かして時代が必要とする内容を修得して社会へ送り出している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートモビリティ科にもトヨタ自動車と連携し、オンライン教育制度のTEAM-GPを取り入れ検討 ボデークラフト研究科でも学士取得のカリキュラムの組み込みを検討 	

基準3 教育活動

現状の取り組み状況	課題と改善方策	参照資料
<p>【3-2-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車業界全体の動きをしっかりと見据え、職業に必要な最新の知識・技術を教育課程に反映させる。 <p>〈自動車整備科、1級自動車科、国際整備科1級専攻科、スマートモビリティ科、トヨタセールスエンジニア科、ボデークラフト科、ボデークラフト研究科〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 国土交通省の定める一種養成施設の自動車整備士養成課程の教育科目および標準教育時間の規定に基づいて専門科目を設け、その授業時数を定めて学則に明示している。 	<p>各学期末に各科担当により、授業内容の振り返りを行い、次年度への改善提案を出し、科目チーフを中心にカリキュラムの検討を行い、教育部会にて承認を受けている。</p>	<p>販売店訪問報告書 教育実績・教育計画 シラバス一覧 学則 各科カリキュラム 各科シラバス 教育課程編成委員会報告書 販売店訪問報告書</p> <p>自動車整備科1年2学期「エンジンⅡ」、「一般教養」3学期「キャリア教育」レクシンプラン</p> <p>公開授業評価シート(職員用・学生用・集計結果)</p>
<p>【3-2-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 就職先企業への訪問やアンケートにて教育効果の評価・授業内容への意見を聞き取り 調査して、教育課程の編成や教育カリキュラムに反映させている。 教育課程編成委員会での意見をカリキュラムへ反映させ、常に新しい知識・技術をカリキュラムへ組み込むと共に教育方法、教材を検討・選定している。 新技術を企業よりトレーナ派遣をしてもらい学生へ展開を継続中。 (千葉トヨタ、ウエイズトヨタ神奈川) 	<p>N/A</p>	
<p>【3-2-3 キャリア教育を実施しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各科共、人材育成目標を達成するために、科目チーフを中心にキャリア教育を実施している。 1年次の授業でトヨタ販売店を実務見学を行っている。 就職活動の早期化に対応するため教育時期を変更した。 OB講演会の実施 	<p>N/A</p>	

基準3 教育活動

	課題と改善方策	参照資料
<p>【3-2-4 授業評価を実施しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に学生に対する授業評価アンケートを実施している。 ・新教員は、ベテラン教員と組み授業を展開しながら、授業評価を実施している。 ・入校5年次までの教員の指導力向上を図るために、公開授業・授業評価を行っている。 	N/A	
<p>【3-3-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科目試験の受験資格として、①授業終了時にレポート提出 ②遅刻・欠席分の補習授業が全て完了していることを定め、実施している。 ・各科目で科目ごとの学科点、実技点、平常点を決めその総合計点で序列等を決定している。この序列によって最優等賞等にも活用、これらの評価点は、HPにも公表している。 ・各科目の定例ミーティングおよび教育部会、教職員会・進級卒業審査会議を開催して、客観性・統一性を確保している。 	N/A	学則 学則細則 成績評価方法は、HPでも公表
<p>【3-3-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学園祭の技術コンクールや、他校との整備技術等に関する競技会への参加を奨励し、好成績の学生を表彰している。 ・トヨタ東自大殿堂があり、校内検定、学園祭サービス技術コンクール、モータースポーツ、クラブ活動、課外活動、社会貢献活動、最優等賞、卒業生全国トヨタ技術コンクール出場者はこの殿堂入りとして表彰している。 	N/A	トヨタ東自大殿堂
<p>【3-4-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各科目で自動車整備士資格、並びに国家資格取得に向け、カリキュラムの編成を行うと共にその指導に当たり、成果を上げている。 ・資格試験に全員合格するために、外部会場での模擬試験や当日遅刻者を無くすためにシステムの構築も実施。 	<p>登録試験対策の授業にモチベーションが低下して登校が難しくなる学生が発生しない対応。</p> <p>当日遅刻する学生を無くすためのシステム構築。</p> <p>心配な学生の前日宿泊の特別対策を実施。</p>	登録試験対策授業計画

基準3 教育活動

現状の取り組み状況	課題と改善方策	参照資料
<p>【3-4-2 資格・免許取得の指導体制はあるか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車関連企業における自動車整備士資格取得の必要性について指導している。 資格試験前には資格取得に目標を置いた内容の教育カリキュラムを実施している。 担当教員・クラス編成等について、最適な指導体制を整備している。 自動車運転免許に関しては、卒業までに取得を目指す、未取得で卒業した者がいた事があるので、学期毎に運転免許の調査、免許証の確認を行っている。 先進自動車に対応する「特定整備」の整備主任者資格講習を上級課程学生へ実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎年運転免許の未取得、及び免許取り消しが発生しており、2学期までに免許取得と免許確認を実施することで、昨年より低減できている。 取得した免許の取り消しや失効がない様に交通安全教育を実施 各課長による未取得者のフォロー実施 早期取得に向けた計画立案 入学前に免許取得の推奨を実施 	交通安全資料
<p>【3-5-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員人材育成体系に、それぞれの資格に応じた目指すべき姿を明示している。 国土交通省の定める一種養成施設の規定に則って、教員として必要な資格を取得させている。 教員採用に当たって、関連企業と連携の上で、自動車業界における実務能力を採用基準の一つに置いている。 国土交通省の規定に則った教員の人数を基に、採用・配置計画を進めている。 教員の構成については、学校組織図に明示している。 職員国家1級整備士受験者2名全員合格 教員の技術レベル向上のため、国家1級整備士資格取得を推進。 70名以上が取得済。 	2名の職員が国家1級整備士資格取得に向けて活動	トヨタ東自大組織図 人材育成体系資料
<p>【3-5-2 教員の資質向上への取組みを行っているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期的な考課の際に教員の能力の評価を実施している。 人材育成体系を基に資格に応じた研修プログラムを実施する事で資質向上に向け積極的に支援を行っている。 トヨタ自動車、トヨタ販売店と連携して研修を実施している。 	N/A	教育部業務分担表 人材育成体系資料
<p>【3-5-3 教員の組織体制を整備しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学年・学科・担当科目に応じて最適な教員体制を整備し、教育部業務分担表で定めている。 科目毎のグループを作り、連携・協力して業務を進めると共に、学期毎に改善案を作り、科目チーフミーティング、教育部部会で検討・決定している。 	N/A	教育部業務分担表 授業担当者名簿

基準3 教育活動

総括と課題	今後の改善方策
<p>『技術を磨け、そして人間性も』のスローガンの下、各科の人材育成目標を掲げ、科毎に社会が求める人材の育成にあたっている。</p> <p>本校は常勤理事に加え、学生が卒業後の主な就職先(トヨタ系企業)より、理事及び評議員が選出されており、人材ニーズの方向性は明確に把握できている。</p> <p>国家試験合格への取り組みにも力を入れており、2024年3月に卒業した学生の国家試験の合格率は、1級小型、2級ガソリン、2級ジーゼル、車体整備士の全てにおいて100%となっている。</p> <p>教育課程に関しては、毎年授業担当が、授業内容の振り返りを行い、次年度への改善提案を、上げている。また、教育課程編成委員会の委員より提案された内容を教育課程に取り込み、より実践的な実習を行っている。</p> <p>また教育方法については、従来のやり方に固執することなく、様々な教育環境の変化に応じて柔軟性を持って見直しを実施している。</p> <p>成績評価基準は、学則ならびに学則細則に規定し学科点、実技点、平常点を決め、その総合計点で成績評価を行っている。これらは、入学後のガイダンスで学生へ周知すると共にHPでも公表している。</p> <p>トヨタ自動車との連携により、最新技術の研修を実施。これを授業へ反映し最新技術を学生へ教育している。</p>	<p>過去最大学生数の国家資格1級100%合格に向けた課題・改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範囲を絞った内容で過去問題実施の改善継続 ・口述試験の回答範囲の見直し実績の改善継続 ・留学生に対応した回答方法の改善継続 <p>欧州研修、学園祭、名古屋研修、スマートモビリティ科の淡路島でのリチウム電池研修は予定通り実施出来た。</p> <p>トヨタ3校で協力して実施することが出来る研修旅行などの検討。</p>
特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	
<p>【各科の人材育成目標】</p> <p>〈自動車整備科〉 サービススタッフの即戦力として活躍できる技術(知識+技能)と人間性を身に付けている。TPOをわきまえ、お客様とのコミュニケーションが取れる。</p> <p>〈1級自動車科／1級専攻科〉 サービススタッフとして、高難度故障修理ができる知識・技術に加え、将来自動車業界のリーダーとなる知識・教養を身に付けている。</p> <p>〈ボデークラフト科〉 サービススタッフとして、一般的な自動車サービスに対応できる知識・技術を身に付けているTPOをわきまえ、お客様の良い相談相手になれる。</p> <p>〈ボデークラフト研究科〉 板金・塗装のエンジニアとして、入社後に即戦力、将来板金・塗装技術者のリーダーとなれる知識・技術を身に付けているTPOをわきまえ、お客様の良きアドバイザーになれる。</p>	<p>〈スマートモビリティ科〉 カーエンジニアとして、「未来」を見据えた次世代のサービスに対応できる、幅広い知識や技能、教養を身に付けている社会人として常識と責任ある行動がとれ、業界のトップランナーとなりうる。</p> <p>〈トヨタセールスエンジニア科〉 営業スタッフとして、カーエンジニアの技術、専門知識を活かしたお客様対応力を身に付けている。社会人としてコミュニケーションの高い行動がとれ、お客様の良きアドバイザーになれる。</p> <p>〈国際整備科〉 サービススタッフの即戦力として、日本国内を始め世界で活躍できる技術(知識+技能)と人間性を身に付けている。TPOをわきまえ、お客様とのコミュニケーションが取れる。</p>

最終更新日付	2025/7/31	記載責任者	石水 渡
--------	-----------	-------	------

基準 4 学修成果

評価項目			評価
大項目	中項目	小項目	
基準4 学修成果	4-1 就職率	4-1-1 就職率の向上が図られているか	4
	4-2 資格・免許の取得率	4-2-1 資格・免許の取得率の向上が図られているか	4
	4-3 卒業生の社会的評価	4-3-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	4

現状の取り組み状況	課題と改善方策	参照資料
<p>【4-1-1 就職率の向上が図られているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員が正社員として、専門分野に就職している。 ・学内に於いて会社説明会を12・1月の2回に分けて実施。(約150社) ・会社訪問後の希望調査、就職試験案内等、企業と連携している。 ・社会人としてのマナー研修を就職活動学年に実施。 ・卒業前に就職に対しての意識付けの授業の実施。 	<p>会社説明会を地域で分けているが、12月に集約することで、就職希望者が冬休み中に会社訪問できるように検討し、学生のサポート向上をはかる。</p> <p>遠方の企業とはオンライン説明会を遠方の会社とは継続活用。</p> <p>学生ポータルサイトで就職情報をwebで閲覧可能とした。また、保護者を含めた連絡網を構築してより確実な情報提供を検討中。</p>	<p>就職ガイド 内定状況報告書 学生ポータルサイト</p>
<p>【4-2-1 資格・免許の取得率の向上が図られているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車整備士登録試験に向けては、層別クラス編成により、きめ細かい指導を行い、1級、2級ガソリン、ジーゼル、車体整備士を100%合格している。 ・試験当日と同等な緊張感を持たせる為に、校外での模擬試験も行っている。これらの取り組みには、教育部全体で取り組み、他の科からも該当科へ授業の応援を行っている。 ・その他の資格試験についても資格試験前には資格取得に目標を置いた内容の教育カリキュラムを実施している。 ・常に他校との成果の比較、過去のやり方との比較検討を行い、実施方法の改善に取り組んでいる。 ・登録試験の結果を元に、学生個々の結果について各種分析を実施し、次年度の対策立案に反映させている。 	<p>登録試験において、 1級小型100%、2級ジーゼル100% 2級ガソリン100%、車体整備士100% を目標通り取得した。</p> <p>登録試験100%合格に向けて今後も実施方法の改善を行う。</p> <p>新課程教科書による登録試験が2年後に実施されるため、対策検討が必要。</p>	<p>登録試験対策 過去の登録試験結果</p>
<p>【4-3-1 卒業生の社会的評価を把握しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な就職先企業への訪問を実施して、近況、評価等の情報交換を実施している。 人間関係の悩み相談が上がる事もあり、採用担当と就職支援課、担任でフォローを実施している。 ・全国技術コンクールへの出場や、就職先での努力、評価についても情報を頂いて、顕著なものは、学校新聞、HP等で紹介、募集用のガイドブックにも掲載している。 	<p>N/A</p>	<p>販売店訪問報告書</p>

基準 4 学修成果

総括と課題	今後の改善方策
<p>就職は、校内に於いて説明会の実施、会社訪問、就職試験と関連企業との連携しながら、関連業界へ正社員として100%の就職を教育成果として実績を残している。</p> <p>資格取得は専門学校に求められる最も重要な要素のひとつと位置付けて、常に受験者全員合格を目指して取り組み、毎年登録試験後に問題の分析を行い、その対策を着実に行った結果として現れたもので、毎年ほぼ100%の合格率を修めている。</p> <p>各科で資格取得に向け、対策授業を行い教科書改訂等に伴う教育課程の変更も毎年検討し、成果として残している。</p> <p>卒業生が、全国技術コンクールへ出場し、成果を残した際は校内にて紹介している。</p> <p>就職活動の早期化に対して、教育課程を見直し、一般教養等キャリア教育の時期を見直すと共に、企業説明会、訪問等の時期も見直しをして就職先選択を選択できる時間を確保する。就職率は100%であるが、第一希望内定率向上に向けて更に努力していきたい。</p> <p>(第1希望内定率96.8%)</p>	<p>第1希望内定率をより高めるために留学生の不合格対策を検討し限りなく100%を目指す</p> <p>会社説明会の開催時期を早めることで冬休みを使った会社訪問が出来るように検討。(12月・1月実施→12月に集約を検討)</p>
特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	備考
<p>第一希望内定に向けての取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当校独自の就職ガイドブック(学生ポータルに掲載) ・外部講師による社会人マナー研修 ・1年2学期に販売店へのサービス実務見学 ・1年3学期に就職対策のためのキャリア教育授業 ・試験明けのスーツ登校 ・HRでの3分間スピーチ ・担任、課長による面接指導 ・就職試験報告書を基にした実技試験対策 	

最終更新日付	2025/7/31	記載責任者	石水 渡
--------	-----------	-------	------

基準5 学生支援

大項目	中項目	評価項目		評価
		小項目		
基準5 学生支援	5-1 就職等進路	5-1-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか		4
	5-2 中途退学への対応	5-2-1 退学率の低減が図られているか		4
	5-3 学生相談	5-3-1 学生相談に関する体制を整備しているか		4
		5-3-2 留学生に対する相談体制を整備しているか		4
	5-4 学生生活	5-4-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか		4
		5-4-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか		4
		5-4-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか		4
		5-4-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか		4
	5-5 保護者との連携	5-5-1 保護者との連携体制を構築しているか		4
	5-6 卒業生・社会人	5-6-1 卒業生への支援体制を整備しているか		4
		5-6-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか		4
		5-6-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか		4

現状の取り組み状況	課題と改善方策	参照資料
<p>【5-1-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職支援体制は、専門部門を設け専任職員2名を配置し、担任教員と連携した個別相談・指導を実施している。 ・就活計画、内定状況は学内で常に情報を共有している。 ・就職先企業と連携して、学内で会社説明会を開催し、企業訪問の取りまとめを実施している。 ・就職指導と内部進学への指導に関する体制は整備され、有効に機能している。 	<p>専任職員2名で担当しているため、就活のピーク時にリソースが不足する対策としてwebを駆使し、効率化を図った。改善余地はあるが前進している。また、会社説明会は、全校職員がサポートすると共に、電話対応や学生対応では教育支援課をはじめ他部署の職員がサポートを継続する。</p>	<p>教育部組織表 就職ガイド</p>
<p>【5-2-1 退学率の低減が図られているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学時のクラス編成をきめ細かく行うことにより退学率低減に役立っている。 ・入学後直ぐに基礎計算力をチェックし、学力不足によるドロップアウトを防ぐために補講等を実施している。数年前から数学、物理等の入学前教育を実施し、その結果もクラス編成に活用している。 ・退学者については退学に至る経緯をまとめ、記録を保存すると共に、各部署と情報共有して、今後の退学者低減のための対策立案に役立っている。 ・相談室や診療室スタッフとも連携し、退学予備軍の早期発見・対応に努めている。 ・退学率は低い水準を保っているが、より一層の努力をして更に低減に努めたい。 ・企業からの支援により、経済面での退学防止も図っている。 	<p>社会生活の不慣れであったり、コロナ禍の影響もあり対面を重視した生活に不慣れで、集団行動で馴染めない学生が一定数いる。学生とのコミュニケーションを取る時間を出来るだけ多くし、目的意識を明確にすることで対応している。</p> <p>また、早期対応、相談室との連携を強化する。その他、自動車をもっと好きになる施策実施。</p>	<p>稟議書綴り クラス編成案</p>

基準5 学生支援

現状の取り組み状況	課題と改善方策	参照資料
<p>【5-3-1 学生相談に関する体制を整備しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生間などのトラブル対応のため、キャンパスハラスメント防止等に関するガイドライン運用 ・担任制で学生の状況は、把握しているが、担任で対応できない部分は、相談室の利用を勧めている。 ・相談室を外部相談員により週2日・2名体制で開設している。 ・相談室の利用方法について学生ポータルサイトや生活ガイドにて学生へ周知している。 ・また入学直後の新生にエゴグラムを実施し、教職員と連携してその後の指導に役立てている。 ・企業との連携で学費サポート支援や卒業後の資金援助などを案内実施。 	<p>新年度にキャンパスハラスメント防止等に関するガイドラインを新生に展開</p> <p>学生ポータルサイトにも掲載し、学生がいつでも確認できるようにしている。</p> <p>在学生へハラスメント防止の継続啓蒙が必要であり終業式のタイミングやトラブル発生時に再確認を実施していく。</p>	<p>カウンセリング報告書 相談室活動報告 トヨタ東自大生活ガイド 学生ポータルサイト</p>
<p>【5-3-2 留学生に対する相談体制を整備しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学生の教育指導・生活指導・在籍管理・就職斡旋の担当者を配置して、留学生の相談に当たり、指導記録も適切に保存されている。 ・留学生のアルバイトに関しては、担任よりアルバイト先に連絡を取り、就労時間等の確認を実施。 ・留学生新生に対し留学生上級生との交流会を入学直後に実施。 ・東京出入国在留管理局から留学生の在籍管理について「適正校(クラスI)」と認められている。 ・トヨタ3校国際整備科の情報交換会を実施 ・文部科学省が外国人留学生に対して質の高い教育を行っている学校に対して認定する「外国人留学生キャリア形成促進プログラム」に当校が選ばれた。留学生が就業する業務内容の関連性について柔軟に判断されることとなる。 	<p>留学生受け入れ増加に対応した教育体制の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際整備科受入れ定員の倍増による2教室体制と担任体制の運用検討。 	<p>外国籍学生データ 留学生在籍管理適正校(クラスI) = 在籍管理優良校</p>
<p>【5-4-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トヨタ販売店独自の奨学金制度や当校独自の奨学金制度、学生支援機構の奨学金制度などを運用している。 ・各支援制度の説明会等の情報提供は学生・保護者に対して随時実施している。 ・高等教育修学支援制度の確認校となり、2024年度は、延べ132名が支援を受けた。 	<p>学費延納を防止するためにも学費納入計画の早期作成と厳格化による指導を実施。</p>	<p>トヨタ東自大 奨学金制度</p>
<p>【5-4-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療室を設置し、常勤の看護師および週1日、近隣の医療機関から校医が来校して医療業務に当たっている。 ・毎年健康診断を実施して記録を保存すると共に、有所見者に対する健康指導・再健診を行っている。 ・寮費と同時に入金させる学食パスのオートチャージにより摂食状況も把握し、校内寮生全員に食育教育も行っている。 ・学食パスの利用状況は、家庭に連絡、担任または保護者から指導をしている。 	<p>食生活習慣が乱れている学生(特に寮生)へ食生活を改善させる指導は、今後も行っていく。</p>	<p>学生指導要録 学食パス案内</p>

基準 5 学生支援

現状の取り組み状況	課題と改善方策	参照資料
<p>【5-4-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内に学生寮を保有している。 ・感染症等での別部屋対応など継続。 ・校内寮の二人部屋生活に馴染めない学生への対応 ・長期休暇(夏・冬・春)の一時閉鎖の継続実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・啓明寮(2人部屋)に感染者用1人部屋の確保 	
<p>【5-4-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動等に必要な資金は、学生預かり金で大部分を支出し、学生個人負担を軽減している。 ・自動車レースのS-GTメカニック体験は、フル参加出来た。 	N/A	課外活動感染防止ガイドライン
<p>【5-5-1 保護者との連携体制を構築しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学式・卒業式は従来通り、来賓・保護者も参加を可能にした。 ・新生保護者説明会(毎年9月)を実施して、教育方針・就職活動、上級学科への進学についての説明を行うと同時に希望者には、個人面談を実施している。 ・学生の生活指導・学業への取組みについて、必要な連携を適時行っている。 ・本校では学生の出欠管理に重きを置いて、朝9時に出席していない段階から通学生は家庭への連絡、また、寮生、アパート学生に関しては訪問し、指導を行っている。 ・入学式当日、式典後に、学校方針、各情報を保護者に説明。また、欠席者もいるので説明会内容を書簡で郵送している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来賓参加者数の予測の検討(事前アンケートなど) 	保護者説明会実施要領
<p>【5-6-1 卒業生への支援体制を整備しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同窓会組織および定期的に常任委員会および総会を開催して活動している。 ・就職先会社へ卒業生の状況等の情報収集をしている。 	卒業生の就職後情報を定期的に吸い上げる仕組みを構築したい。同窓会支部会をリニューアルして情報収集し、退職防止に役立てる。	同窓会HP 同窓会常任委員会資料
<p>【5-6-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の5月に実施される1級口述試験受験者へは、卒業後も資格取得に向け就職会社と連携を取り、フォロー及び登校しての直接指導を行なっている。 ・国家試験不合格者及び未受験者が出た場合には、卒業後の合格へ向けてのフォロー教育を実施。 ・2級ガソリン・ジーゼル未受験者(病気入院のため)1名を10月にフォローして合格。 	N/A	
<p>【5-6-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人経験者についても積極的に入学受入れ体制を整えている。 ・卒業後の進路について、各自の事情に合った就職先の斡旋を行っている。 	N/A	

基準 5 学生支援

総括と課題	今後の改善方策
<p>退学率低減に向けては、入学前教育により基礎学力を向上させ問題のある学生に対しては、担任、科目担当、保護者と連携し学習、生活指導と幅広く教育活動に当たっている。退学率低減を課題と捉え、今後もより一層の努力をして更に退学率低減に努めたい。</p> <p>学生相談に関しては、担任による面談、また相談室を開設し外部相談員による面談も行われている。また、学生が安心して満足のいく快適な学園生活を送れるような配慮・支援については常に心掛け、更にクルマ好きになれるよう「車が好きで、逞しい人材を育成する」諸活動を積極的に実施している。ハラスメントへの対応としては、対応規則を設け、窓口を設置した上で学生・職員に周知し、相談しやすい体制を確立した。</p> <p>留学生に対しては、生活指導からアルバイトに至るまで実施し、特にアルバイトは担任よりアルバイト先に連絡を取り、就労時間が多くなり過ぎない等の確認を実施している。保護者との連携は、入学式、保護者説明会、各学期の書簡と十分に取れている。また、出欠管理、試験等で問題があれば、その都度連絡をしている。国際整備科の設立により、留学生への支援内容や就職支援の幅も広がった。卒業生を輩出したことで、3年間のカリキュラムの確立と今後の改善をすすめるデータ集めが出来た。今後の人数拡充に伴ない更なる課題のあぶり出しと改善をすすめている。</p> <p>同窓会支部活動を有効活用して卒業生ネットワークの利用を検討していきたい。</p>	<p>⇒退学率低減に向けては、入学前教育の効果を見る仕組みを作り、入学前教育内容の改善を図ることで、一定の成果が出ている。学生の様々な悩みに早期に気付き対応 指導する教員の指導力を更に強化する事により、継続して退学率低減を図りたい。</p> <p>⇒キャンパスハラスメント防止ガイドラインの展開 学生ポータルサイトの活用</p> <p>⇒留学生受け入れ増加に対応した教育体制の見直し ・教室体制の検討 ・担任制度の検討</p> <p>⇒卒業生の支援として同窓会支部を販売店グループ会社と協力して運営を検討(岩手県・東京・神奈川・山梨) 年1回の集まりに参加して、5年毎に実施している同窓会総会への参加の呼び掛けをすることで、卒業生と連携し同窓会組織や資格取得に関する支援、自動車業界の現状に関する情報交換等を行っていきたい。</p>
特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	備考
<p>主に就職関係を担当する就職支援担当と、主に授業や課外活動への支援を担当する教育支援担当の2つのグループで構成されている。</p> <p>その他、精神面での支援として、相談室を週2日開放。専門相談員2名が対応し、体調面の管理として、診療室に看護師常駐。校医は週1日診療に当たる。</p> <p>経済面の支援として日本学生支援機構他の奨学金制度を必要な学生に提供している。また、各トヨタ販売店が独自に設定した企業奨学金制度もあり随時紹介している。さらに、オリコ学費サポートプラン、セディナ学費ローンも紹介し、これにより低利かつ簡単な審査で学費を借りることができる。</p> <p>2020年4月からは、「高等教育の修学支援制度」の対象校になり毎年更新を実施中。</p>	<p>高等教育の修学支援新制度の機関要件申請を毎年更新することで、日本支援機構の給付型奨学金の対象校として登録し、対象学生に提供している。</p> <p>トヨタ販売店奨学金のPR方法を拡大し、ガイドブックにも掲載することで利用しやすくする。</p> <p>トヨタ販売店に留学生への奨学金サポートの協力検討の依頼を継続して実施。</p>

最終更新日付	2025/7/31	記載責任者	石水 渡
--------	-----------	-------	------

基準 6 教育環境

		評価項目		評価
大項目	中項目	小項目		
基準6 教育環境	6-1 施設・設備等	6-1-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか		4
	6-2 学外実習、インターンシップ等	6-2-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか		4
	6-3 防災・安全管理	6-3-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか		4
		6-3-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか		4

現状の取り組み状況	課題と改善方策	参照資料
<p>【6-1-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設・設備は、中長期的な計画に基づいて、教育上の必要性に十分対応できるよう順次整備を進めている。 トヨタ自動車からの技術情報や教材提供を受けている。 自動車社会の将来に向けた技術的発展を視野に入れて、最新の設備を備えたスマートモビリティ棟を有効利用している。 設置基準・関係法令に適合するよう整備されている。 専門分野を中心とする書籍を保有し、学生が閲覧できる図書室や十分な広さの学生食堂を持っている。 特定整備(電子制御)認証工場として認可、国家2級整備士を持つ上級学科の学生には特定整備の整備主任者講習を受講できる機会を継続実施中。 <p>・トヨタ自動車から魅力的な車両の購入を継続出来ており、最新車両などの魅力的な車種が増加している。</p> <p>・当校創立70周年の機会にトヨタ販売店各社より大型テレビモニターを寄贈いただき、全教室への配備ができた。</p> <p>・校内全校舎のWi-Fi化が完了し、全教室を含めたWi-Fi通信を用いた教育等の充実が図られた。</p>	<p>新型車や先進機器など最新教材の導入継続。</p> <p>計画的に予算に盛り込んで必要機材の更新・新規購入を実施する。</p>	<p>トヨタ東自大中長期方針</p> <p>教育部予算資料</p> <p>重点管理設備日常点検表</p> <p>学校施設貸出誓約書</p> <p>アフタースクールガレージ概要</p>
<p>【6-2-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> インターンシップは、1級課程において国土交通省の規定で義務付けられており、他の学科では在学中に将来目指すべき姿を具体的に理解する機会と捉えて、積極的に取り組んでいる。 1級課程のインターンシップの内容は、トヨタ3校で協議し、実施要領・習得目標・評価基準を定めて実施している。 トヨタの各販売店、関連企業に協力をして頂いており、実務見学からインターンシップまで本校学生の受け入れ体制は整っている。 上級課程では、授業としてインターンシップを行っているが、自動車整備科は、課外授業ではあるが、2年次に、内定先にてインターンシップを実施しており、上級課程へ進学する学生の希望者にもインターンシップを実施している。 	N/A	<p>実務研修依頼文</p> <p>実務研修レポート</p>

基準 6 教育環境

現状の取り組み状況	課題と改善方策	参照資料
<p>【6-3-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか】</p> <p>防災に対する訓練や災害発生時の体制は整備されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の経験を踏まえて、防災マニュアルを再度見直し整備して運用している。 ・施設・建物・設備の耐震対策および防災設備の保守点検も充分に行っている。 ・定期的な訓練の際に災害時に留意すべき点について教育している。 ・緊急時連絡のため、定期的に全学生に学校からメール発信、返信の訓練を実施。 ・入学直後の消防避難訓練から大災害時におけるサバイバル訓練、寮生のための必要物資の保管まで、防災に対する訓練を毎年確実にしている。 ・地域のハザードマップを寮生に配布するとともに、寮は安全な場所であり地域が「高齢者避難開始」などの状態でも在宅避難が有効と周知している。 	<p>緊急時の連絡先メールアドレスは、定期的なチェックが必要となり、長期休暇時に、生活習慣のチェックと同時に連絡付くかの確認を実施。</p> <p>保護者も含めた緊急連絡が可能なシステム導入に向けて検討中。(さくら連絡網)</p>	<p>地震対応マニュアル 避難訓練実施要領 寮避難訓練・サバイバル訓練実施要領 化学物質管理方法書</p>
<p>【6-3-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生委員会を組織、定期的に安全パトロールを行いチェックしている。 ・災害、事故防止のため各所に安全作業マニュアルを掲示している。 ・実習の開始前に作業内容を確認し、作業前にKYTを必ず実施している。 ・防犯カメラをはじめ、防犯体制を整えている。 ・事故対応マニュアルを整備している。 ・危険物の保管・管理は一括して適切な方法で実施している。 ・学外実習においても責任者を定めて適切に運用している。 ・実習時に小傷災害防止のため作業手袋を使用。 	<p>N/A</p>	<p>安全衛生委員会議事録 学生の病気・怪我時の対応手順 重点管理設備日常点検表 化学物質管理方法書 事故対応マニュアル</p>

基準 6 教育環境

総括と課題	今後の改善方策
<p>教育環境は、専門学校としては十分な環境と言える。また、施設・設備は、中長期的な計画に基づいて、教育上の必要性に十分対応できるよう順次整備を進めている。</p> <p>学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備している。</p> <p>1級自動車科のインターンシップは、国土交通省規定通りに実施し、他の科でも取り組んでいる。</p> <p>防災に関しては、東日本大震災の経験を踏まえ、防災マニュアルを作成し、毎年見直しを実施している。避難訓練に関しては、新入生が入学して日が浅いうちに実施している。</p> <p>また、寮生に関しては、寮からの避難訓練だけでなく、防災備蓄倉庫の紹介、使用方法までを訓練の一部として実施している。</p>	<p>現在推進している中長期計画の中に、教育施設・設備の充実を盛り込んで、更なる教育環境の整備を目指している。</p> <p>保護者・学生・教職員への連絡手段としてシステム導入を検討中。</p>
特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	備考
<p>実習車等の教材を豊富に保有しており、自動車に関する学習(含実習)がしやすい環境は、全国トップクラスである。</p> <p>校内に食堂、グラウンド、アリーナ(体育館)、テニスコート、学生寮など設置。車両を走行させるコースが、校内サーキット、チャレンジウェイ、オフロードコースとあり、作業後の確認等に使用している。</p> <p>また、校内に車両通学学生用の駐車場もあり、希望学生は、車両通学も出来る。バイク通学は、原動機付き自転車に限り許可している。</p> <p>『くるまが好きで、逞しい人材育成』の活動として、以下のような活動がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内ドライビングライセンス制度などにより安全な運転技術の向上も図っている。 B級、A級、S級とあり、B級は、校内サーキット、チャレンジウェイでの試乗が出来る。 A級は、実習場内での移動が出来る。上級課程へ進学学生へは、A級を取らせている。 S級は、校用車でのレース、競技会への参加が出来る。 ・アフタースクールガレージ制度があり、放課後等の時間に自分の車を整備出来る制度。 <p>主にエンジンオイル交換、タイヤ交換等の作業を行っている。また、トヨタ純正部品であれば、学校経由で購入することが出来る。</p>	

最終更新日付	2025/7/31	記載責任者	石水 渡
--------	-----------	-------	------

基準 7 学生の募集と受入れ

大項目	中項目	評価項目		評価
		小項目		
基準7 学生の募集と受入れ	7-1 学生募集活動	7-1-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか		4
		7-1-2 学生募集を適切かつ効果的に行っているか		4
	7-2 入学選考	7-2-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか		4
		7-2-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか		4
	7-3 学納金	7-3-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか		4
		7-3-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか		4

現状の取り組み状況	課題と改善方策	参照資料
<p>【7-1-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進学説明会への参加と、それ以外にも個別での高校訪問を実施し、積極的に最新の情報を提供している。 留学生向けリーフレットを作成し、留学生や日本語学校教員に積極的に展開。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後もより多くの方が参加できる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 進学説明会 高校訪問報告書
<p>【7-1-2 学生募集を適切かつ効果的に行っているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学生募集活動並びに入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われている。 協定に従い、適正に実施している。 学校案内は毎年、教育活動、各実績・成果等の改定を行い、分かり易く表記している。 個人情報保護を徹底している。 来校しにくい生徒のためZOOMによるオンラインオープンキャンパスを開催 オンラインによる面接試験も一部実施 7月のAO入試で地方会場(札幌・仙台・水戸・長野)での受験を昨年から実施。 応募のしやすさ、確実さを目的にWEB出願への移行を図り、円滑に実施できた。 	<ul style="list-style-type: none"> AO入試の地方受験を7月に変更し地元以外の早期受験者への対応を実施予定。 9月～12月まで毎月AO入試を実施する形で2025年度は計画し受験者への受験選択増加を検討 WEB出願とともにインフォクラウドによる出願管理へ移行した。校内浸透へ向け、担当者学習会を月1回設けて推進している。 	<ul style="list-style-type: none"> 募集要項 学校案内 オープンキャンパス日程 募集要項 面接評価の仕方 面接試験用紙
<p>【7-3-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> JAMCA各校の状況から学納金の水準を把握すると共に、経費内容に対応して学納金を算定している。 徴収金額はその全てを明示している。 本校の学納金は、自動車整備の専門学校の中では、ほぼ平均値となっている。 	N/A	<ul style="list-style-type: none"> 各校の学納金データ 学校案内 入学手続き案内
<p>【7-3-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 規定に従い返還を適切に取り扱くと共に、募集要項等に明示している 	N/A	<ul style="list-style-type: none"> 募集要項 入学手続き案内

基準 7 学生の募集と受入れ

総括と課題	今後の改善方策
<p>学校運営に直接関わる学生募集活動は、少子化や業界環境等の変化で定員を満たすのが厳しい状況にあるが、教職員一丸となつての取組みやトヨタグループ各社の協力も得ながら、日々努力している。</p> <p>また、国土交通省でも「自動車整備要員の人材確保・育成に関する対策」を検討しており、昨年に引き続き運輸支局長等による高校訪問で、自動車整備の仕事に関する説明を実施している。</p> <p>本校での募集活動では、学校評価の一つとなる就職、資格取得等の実績を正確に公表し、入学選考も適正かつ公平な基準に基づき実施している。</p> <p>今後も自動車業界に不可欠な専門技術を修得した優秀なエンジニアを継続的に輩出するために、サービスエンジニアの魅力、自動車の魅力を十分に理解されるような広報活動を重視した学生募集活動を展開していきたい。</p>	<p>募集につながる当校認知の拡大のため、オンラインWEB系PR活動やオープンキャンパス、各種イベントへの認知活動を強化する。</p> <p>自動車エンジニアの待遇改善が進んでいる。この変化を高校生などに積極展開し、自動車業界に興味を持つ生徒を増やしたい。</p> <p>トヨタ自動車、トヨタグループ販売店との連携をさらに強め、自動車業界の魅力を若者により強く伝えたい。</p> <p>高校生に魅力ある大学卒業資格(学士)を授業内で取得できる学科(ボデークラフト研究科)を増やしし魅力を高めたい。</p>
特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	備考
<p>2024年度生もSNS(LINE・X・Facebook・Instagram・TikTok)の有効活用で情報発信を強化し、メーカー校の優位性をPR。自動車関係全般に興味を持った大学志望の高校生を惹きつけるスマートモビリティ科やトヨタセールスエンジニア科により四大希望者へのアプローチを強化。質重視及び効率的な募集活動・入試制度を継続。また、国際整備科の募集は再開したが、コロナ禍が長引き国内の留学生数が減少したままで推移したため、受験者は少人数となった。結果、人数的には日本人中心とはなったが、トヨタで働きたい希望者を中心に前年は上回る受験者数となった。</p> <p>入学生の経済支援となる「トヨタ東自大奨学生」の「N1奨学生」、「女子奨学生」、「3級自動車整備士奨学生」の支援サポートを実施。</p> <p>各種入試制度の中にトヨタグループ各社からの「企業紹介制度」「企業推薦入試制度」の設定および「企業奨学金」制度の設定企業の拡充。</p> <p>地方出身者の住居として、敷地内に定員250名の「安心・安全・安価」な校内寮を設置し、遠方からの入学希望者も入学しやすくしている。</p>	<p>一法人化に伴い募集システムの統一を図り、運用方法の共有化による募集増加を実施。</p>

最終更新日付	2025/7/31	記載責任者	若林 良弘
--------	-----------	-------	-------

基準 8 財 務

評価項目			評価
大項目	中項目		
基準8 財務	8-1 財務基盤	8-1-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4
		8-1-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4
	8-2 予算・収支計画	8-2-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4
		8-2-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4
	8-3 監査	8-3-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4
	8-4 財務情報の公開	8-4-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか	4

現状の取り組み状況	課題と改善方策	参照資料
<p>【8-1-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車整備分野の専門学校としては、少子化、大学全入時代、クルマが身近でないなど厳しい募集環境がある。ただし、コロナ禍を過ぎ留学生の応募も増しており、厳しい状況ではあるが、これまでの積極的な設備投資等の資産を活かし、財務基盤の安定化を図っている。 ・収支均衡型に変容し、尚且つ学校の魅力向上を図る為に、全館Wifi化や5号館AC全更新を行ったが、文科省、東京都などの補助金を積極的活用し、2024年度も収支は均衡した。 ・応募者入学者の推移、充足率等の推移は把握している。 ・負債額は0円である。 <p>・厳しい経営環境の中、入学者確保、上級課程への進学率向上等、新中長期計画による学校経営基盤の安定化を目指した結果、収支均衡化した。 また、資産運用は長期金利低迷から少しずつ上昇に向かっていく。 今後は一法人化の元、資産運用は集約し、計画的に運用して行く。</p>	<p>収入に見合った支出となるよう経営体質の変化が必要だが、施設設備の老朽化も放置することはできない。今後は一法人化の元、校舎のリノベーションなど計画的に施設設備投資にも対応して行く。</p>	<p>新中長期計画 事業活動収支計算書、資金収支決算書、貸借対照表、財産目録</p>

基準 8 財 務

現状の取り組み状況	課題と改善方策	参照資料
<p>【8-1-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実績及び計画から分析し、収支予測と収入支出のバランスを確認し、予算は有効かつ妥当なものとなっている。新中期計画に基づき、年度毎、各部毎に目標を設定し、これを着実に推進している。 事業活動収支バランスは、基本金組入前収支に関して実質黒字を継続しており、今後一法人化の元、新中長期計画の遂行で、収支均衡継続を行って行く。 	N/A	決算概要、決算推移表、トヨタ自動車期中・期末決算報告書、資金収支計算書、財務分析表、決算推移
<p>【8-2-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度予算は有効かつ妥当なものとなっている。毎年理事会・評議員会にて提案し、承認を受けている。 	N/A	基本理念、各部年度方針 理事会資料
<p>【8-2-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 予算に基づき執行するが、実行段階で更に妥当性を確認しながら計画を進めている。 予算計画・執行にあたっては経理規則のチェック項目に照らして管理されている。 	N/A	月次決算書類、トヨタ自動車期中・期末決算報告書、経理規則、
<p>【8-3-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 監事への定例報告のほか、年二回公認会計士事務所による監査を実施し、報告書を受領し、理事会で監事による報告を得ている。 また、会計監査時の改善意見を記録し、適切に対応している。 	N/A	後藤公認会計士事務所による監査報告書
<p>【8-4-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 規程に則り、毎年決算理事会後、財務諸表、事業報告書を作成しており、学校関係者からの閲覧要望があった場合に対応できるよう準備している。 2014年度より職業実践専門課程の規定により、HPでの財務諸表の公開を実施しており、閲覧用と併用している。 	N/A	閲覧用財務書類等 事業活動収支計算書、資金収支計算書、 貸借対照表

基準 8 財 務

総括と課題	今後の改善方策
<p>少子化・大学全入時代到来等の影響による応募者減少傾向にあったが、留学生希望者の増加もあり、本校はトヨタ自動車(株)直営校としてのメリットを活かし、入学希望者数を増して行きたい。</p>	<p>募集環境は今後も国内は厳しい状況が続くと考えられる中、留学生の回復と合わせ、新中長期計画に沿って対応して行く。 今後は、一法人化によるスケールメリットを最大限に活かし、法人全体として黒字継続での収支均衡化を図る。</p>
特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	備考
<p>入学生は定員を下回っていながらも増加傾向にあり、高い上級課程進学率の維持や経費削減等により法令順守で健全な財務体制で、黒字化を継続。 会計監査は、公認会計士事務所により、内部統制を検討したうえ、経営状況及び財政状況を適正に表示していると認められている。</p>	

最終更新日付	2025/7/31	記載責任者	今野 康裕
--------	-----------	-------	-------

基準 9 法令等の遵守

大項目	評価項目		評価
	中項目	小項目	
基準9 法令等の遵守	9-1 関係法令、設置基準等の遵守	9-1-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4
	9-2 職業実践専門課程認定要件	9-2-1 職業実践専門課程の認定要件を満たし、適正な教育運営を行っているか	4
	9-3 個人情報保護	9-3-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4
	9-4 学校評価	9-4-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4
		9-4-2 自己評価結果を公表しているか	4
		9-4-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4
9-5 教育情報の公開	9-5-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4	

現状の取り組み状況	課題と改善方策	参照資料
<p>【9-1-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係法令及び設置基準は遵守され、適正な運営がなされている。改正、変更がある場合はすみやかに届け出る等の対応をしている。 フレックスタイム制、在宅勤務の運用活用。勤怠管理システムによる時間管理を継続。 積極的な法令改定の確認及び改定内容により届出書類リスト作成等による対応。 年間5日有給休暇取得義務に対して、勤怠管理システムによるアラート管理を継続。 私学法改定に向け寄附行為の改定、理事・評議員・監事等組織見直しによる届出完了。 	<p>法令改定等の早めの情報入手及び漏れの無い対応。</p> <p>2025年度私学法改定への対応。</p>	<p>勤革時</p>
<p>【9-2-1 職業実践専門課程の認定要件を満たし、適正な教育運営を行っているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育課程編成委員会を定期的に開催し、その意見をカリキュラムに反映させている。 各科とも企業と協定書を締結し、連携した実習や演習を実施している。 資格毎に外部研修等のスケジュールを立て、実施している。 学校関係者評価委員会を毎年開催し、その結果をHPIに公表している。 	<p>継続対応</p>	<p>職業実践専門課程基本情報 自己評価報告書 学校関係者評価報告書 財務資料 (以上、HP公表中)</p>
<p>【9-3-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新入生、保護者、新職員からの誓約書の提出を確実に実施、規定に基づき、管理している。 PCデータ、閲覧、プリントアウト関連では、監視ソフトを導入し、ログを取り、自己規制が働くよう運用している。 	<p>職員、学生に対し、個人情報管理に関する啓発、教育の継続</p> <p>定期的な意識喚起、周知等も継続する</p>	<p>(個人情報等に関する)誓約書、 LanScope(監視ソフト)</p>
<p>【9-4-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2004年度以来、毎年自己点検自己評価を実施しており、委員会の設置、学校評価実施規程の施行、学校関係者評価等に基づく改善に取り組んでいる。 	<p>N/A</p>	<p>学校評価規程 自己評価報告書</p>

基準 9 法令等の遵守

現状の取り組み状況	課題と改善方策	参照資料
<p>【9-4-2 自己評価結果を公表しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己評価報告書をHP上で公表している。 	N/A	自己評価報告書
<p>【9-4-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校関係者評価は実施しており、チェック項目はすべて満たしている。 学校関係者評価結果をとりまとめ、HP上で公表している。 	N/A	学校関係者評価報告書
<p>【9-5-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職業実践専門課程に伴う各科のデータをHPにて公開している。 	N/A	教育部各種書類・データ類

基準 9 法令等の遵守

総括と課題	今後の改善方策
<p>コンプライアンス(法令等の遵守)においては、学校方針に基づき、真摯に取り組んでいる。法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされている。個人情報に関しては、その保護のためのハード面、ソフト面において対策が取られており、自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めており、2014年度より公表している。学校関係者評価においても実施、公表しており、今後も課題と指摘された内容を学校運営に反映および制度、運用面等の改善を実施していきたい。教育情報はHP等により、情報公開している。</p>	<p>法令改定等の入手の確実性を高めたい。 ー 法人化に伴い内部統制の厳格化を検討。</p>
特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	備考
<p>グローバルな視点をもって社会と調和のとれた運営を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 法とその精神を遵守し、オープンかつフェアに運営 環境に配慮し、地域社会と調和 <p>教職員のフレックスタイム制・テレワーク規定を導入後、働き方改革を推進。 オンライン授業、業務への切替体制や装置の導入を継続。</p>	

最終更新日付	2025/7/31	記載責任者	今野 康裕
--------	-----------	-------	-------

基準 10 社会貢献・地域貢献

		評価項目		評価
大項目	中項目	小項目		
基準10 社会貢献・地域貢献	10-1 社会貢献・地域貢献	10-1-1	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
		10-1-2	国際交流に取り組んでいるか	4
		10-2-1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4

現状の取り組み状況	課題と改善方策	参照資料
<p>【10-1-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の環境方針を定めて教職員および学生に周知すると共に、環境教育を重要な教育項目の一つとして位置付け、環境保全に関する授業を実施している。 資格試験受験のための教育指導方法に関して、企業との情報交換を実施している。 1級登録試験実技試験会場として5号館貸出(8月) 特定整備講習を外部向けに実施。 緊急時のヘリポートとして校内サーキットの使用を八王子消防署と協定を結んでいる。 横山第一小学校、緑が丘小学校5年生など社会科見学来校 高尾警察署、警視庁第9方面交通機動隊へ校内サーキット、西キャンパスの貸出。 西キャンパス駐車場をこどものうち八栄寮へ貸出。 地元の柵田地区「青少年対策地区委員会の理事に学園理事が、委員に教育部長が就き、地域の3小学校・1中学校、町会、地域団体との情報交換やイベント交流を積極的に行なっている。 学生に年間1つは自主的にボランティア活動に参加することを推進し、自主性や自己肯定感を高めることにつながっている。 	<p>近隣からの協力依頼に出来るだけこたえられるように地域活動協力を力を入れているが、年間で実施されるイベントが増加傾向で、時期によっては参加が難しいものがあり、今後の追加参加は要検討。</p>	<p>教育部方針 中学生職場体験資料 八王子消防署との協定書 環境教育LESSンプラン 見学者受入れ計画</p>
<p>【10-2-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 柵田地区地域清掃に参加、八王子よこやま南マーチングフェスティバル、八王子いちょう祭りの駐車場係、めじろ台祭りの神輿担ぎ応援等に毎年参加、八王子市が募集する夏期休暇中のボランティア活動参加。自主的に参加し地域の方々にはほめていただけることにより学生は自己肯定感を高めている。 横山第一小学校のオータムキャンプ、地域防災訓練へボランティアとして参加した。 献血車を呼び、毎年多数が献血に応じている。 		<p>学生献血者数は、累計1万人を超えている 厚生労働大臣より表彰(2003年7月)を受けている</p>

基準 10 社会貢献・地域貢献

総括と課題	今後の改善方策
<p>教育方針の一つに社会貢献活動を盛り込んで実施している。また、社会貢献を通じた人材育成を重要な学生教育手法の一つと考えて、積極的に取組み人材育成に寄与している。地域社会の一員としてだけでなく広く官公庁、企業、団体からの協力要請に対して、できる限り貢献できるよう対応している。</p> <p>防災面では、ここ10年の学校・学生・教職員の熱心な貢献活動への取組みにより、2024年度は2つの表彰を受賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務省より「第29回防災まつづくり大賞 日本防火防災協会会長賞」を学校が受賞 ・東京消防庁より「第21回地域の防火防災功労賞 最優秀賞」を学校が受賞 <p>さらに地域貢献活動では、地域での健全育成への貢献から八王子市教育委員会から学校が表彰</p> <p>社会貢献活動として、学園祭での収益の寄付により交通遺児等育成基金より学校が感謝状を受けた。</p>	<p>N/A</p>
特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	備考
<p>毎年、国土交通省へ自動車整備士国家試験会場として貸出し、近隣の小中学生並びに高校生の職業理解活動に対する協力、消防署の研修や警視庁交通機動隊の走行訓練に学校施設を貸し出している。</p>	

最終更新日付	2025/7/31	記載責任者	若林良弘
--------	-----------	-------	------